

平成23年度(第1回)理事会 議事録

議事録署名人：
(赤石)

(加藤)

特. 日 時 平成23年1月30日(日曜日) 13時00分～

監. 場 所 小浜 事務局

企. 出席者 理事： 渡辺理事長 餅副理事長 森田副理事長、多田、赤石、金、吉田
佐々木 各理事 (理事定数 16名 現在数 13名)
監事： 武藤、橋内
委員： 高橋

協. 議事内容

1) 理事長挨拶

- ・事務局員として、黒澤さんが退職し千葉さんとなった。
- ・年末に宮城県各部署に挨拶してきた。
- ・早期に”法人化”を進めたい。

2) 平成22年度決算報告書の承認

昨年度決算案について内容を精査し承認をした。

3) MORC新規入会者に対し『国際VHF』船舶局の開設を、するよう強く働きかけることとした。

4) 『法人改革』について

旧多田理事から、法人化を進めるにあたっての考え方について説明がなされた。

(趣旨概要)

法人化時点の『時価評価純資産』を毎年行う『公益事業金額』で除した期間
新法人は監査を受ける事となる。なるべく監査期間を短くするために
上記の、分子を減らし、分母を増やす必要があり検討の上、監督官庁と
折衝してゆくこととした。

月) 『基金』の取扱

その使い道は新法人に委ねることとした。

火) (財) 公益法人会主催『新公益法人制度の理解を深めるための相談会』出席報告

(趣旨概要) →詳細報告は別紙参照

- ・一般法人をめざすなら”遊休資産”という概念はない。
- ・監査期間は、新法人化時点での”時価評価純資産”を、
法人化後の”公益事業費”で除した期間とする。
- ・”時価評価純資産”については、色々な控除項目がある。
- ・”公益事業”の算定には、一般管理費の配賦をしても良い。

水) 新法人化に伴うワーキンググループの開設

新法人化に当たり、会員と現状認識を共有し、問題点の把握や解決案の検討など
知恵を集結するため、意見を聞き、理事会での各種検討の参考とすることとした。
・開催日時2月13日(日曜日) 13時～ 小浜事務所

木) 新法人化情報交換サイト

新法人化に関する、サイトをホームページ上に追加構築することとした。

金) 今後の手順

平成23年度第1回総会において、新法人の『定款』を討議・承認してもらう
こととし、承認後早期に監督官庁に『新法人認可申請』を行う事にした。
とりあえず、『新法人』の認可取得を先行することとした。
その後、新法人の『規則』『細則』について検討し、定款との齟齬があるなら
事後に修正すれば良い。との認識とした。

5) 平成23年度第1回総会開催について

次のとおりとした。

- ・日程 2月27日(日曜日)
- ・時間 未定
- ・場所 未定
- ・主要な議事内容

平成22年度活動報告/決算報告等の承認
新法人化の報告ならびに『新定款』の承認

<開催にあたって>

- ・ 討議内容が『新法人』の『定款』を議決するため、総会開催に必要な出席者数は会員の2/3以上とする。
- ・ なお、総会開催の案内には、議案内容の詳細も記載し、返信葉書にて議決に参加する事が出来る様にしたこととした。
(新定款は分量が多いため、各自への郵送ではなく『ホームページ』での開示とし各自閲覧してもらうこととした)

6) 会員の入退会

下記艇の退会を承認した。

- ・ 白翠 (千葉 豊)
- ・ 祐幸 (鈴木 祐之輔)
- ・ デザートイン (鈴木 和雄)

7) 平成23年度事業計画の再確認

各委員会から具体的な今年度事業計画の報告がなされた。

- ・ 広報委員会 ホームページの運営、新法人化サイトの構築
- ・ 会員委員会 次年度カレンダーの作成 (ほぼ22年度同様とする)
- ・ 海事思想委員会 体験航海、新クルー研修会
- ・ 安全委員会 マリンVHF海岸局運営
- ・ レース委員会 小型艇に配慮する。日程の現時点での案としては
 - ・ メイストーム 5/03-04
 - ・ 親潮北上レース 8/06-07 or 8/13-14
 - ・ 仙台ベイフェスティバル 9/18-19 or 9/23-24 or 9/24-25
 - ・ ショートボード 6/11-12 及び 10/09-10

8) その他

旧塩釜港泊地について

- ・ イルミネーション時に使用していた、臨時ポンツーンについては塩釜市長から撤去要請があり、撤去した。
- ・ 塩釜市から『北浜緑地護岸環境整備事業』にかかる説明会参加案内があり、参加することとした。
また近々、塩釜商工会議所が主幹で発足させる予定の『塩釜市港奥部ウオータフロント活用市民会議』についても、上記説明会時に説明される。
- ・ 『塩釜港泊地を考える会』に委員として参加することとした。
- ・ 当面『マリントック』(観光桟橋対岸)の桟橋を無償で利用出来ることとしたので活用してほしい。なお使用時には幹理事に報告してもらいたい。
(塩釜市に提出するMORCとしての”湾奥活用実績報告”を作成するために)

旧会員の減少

会員(艇/人)の減少傾向が継続している。

諸事業を実施する上でも、会員数が必要であり、会員自らが勧誘に努めてもらうこととした。

<各会員艇の非会員クルーを入会してもらうなど>

旧小浜港入港案内

以前の理事会で作成し、公開することになっていた『小浜港入港案内』について作成完成した。ホームページにて公開することとした。

以上(議事録作成: 森田)